

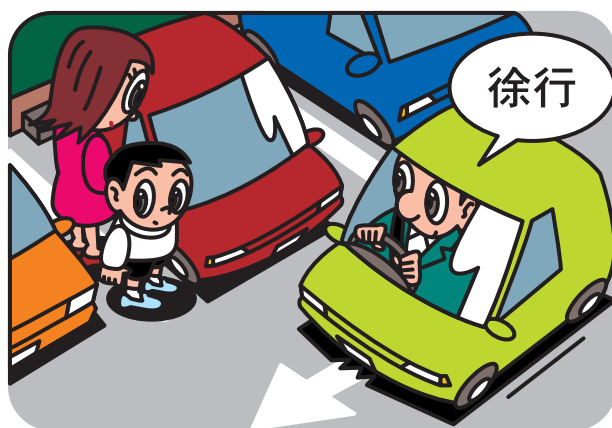
8月の安全運転のポイント 平成2年8月号

車で出かけるときは駐車場を利用することも多いでしょう。駐車場には行楽地や観光地の駐車場、高速道路のサービスエリア、大型小売店等の商業施設の駐車場などさまざまなものがあります。そこで、駐車場における安全確保の基本や駐車場の特徴に応じた注意点をまとめてみました。

駐車場での安全確保の基本

他の車や歩行者に注意して徐行する

駐車場内を走行するときは、道路以上に通行車両や歩行者の動きに注意が必要です。特に子どもは駐車車両の陰に隠れて発見が遅れやすくなります。いつでも停止できる速度(時速10キロ以下)で進行しましょう。



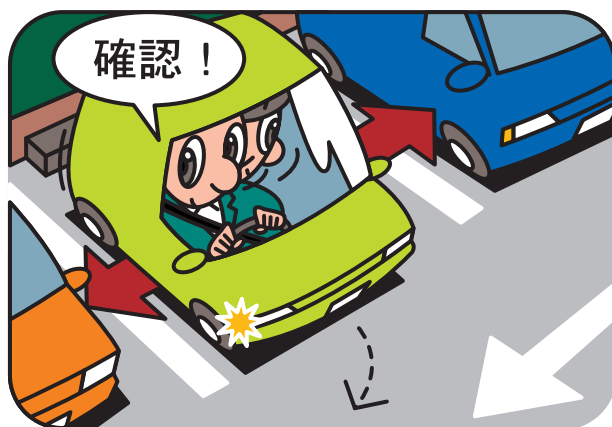
人が歩く速度でバックする

後方は死角が大きく、駐車車両との距離や間隔を的確に判断したり確認するのが難しくなります。バックして駐車するときは、歩くくらいの速度で徐々にバックします。また、バック中に少しでも接触する危険を感じたときは、決して無理をせずやり直しましょう。同乗者がいるときは誘導してもらうのもよいでしょう。



駐車スペース内にきちんと駐車する

駐車するときに、車体を斜めにしたり区画線をはみ出すと、自車だけでなく、他車の事故の誘因ともなりますから、駐車スペース内にきちんと駐車しましょう。また、隣の駐車車両との間隔を詰め過ぎないようにしましょう。



発進時は両脇の駐車車両との間隔に注意する

車が右左折するとき、後輪は前輪よりも内側を通ります。そのため駐車車両の間から右左折して発進していくとき、左右の間隔に注意しないと、後輪が駐車車両と接触する危険があります。発進時は、通行車両や歩行者への注意だけでなく、両脇の駐車車両との間隔に十分注意しながら、ゆっくり発進しましょう。



駐車場の特徴に応じた注意点

行楽地の駐車場

行楽地や観光地の駐車場は、観光バスが多いという特徴があります。バスを降りた観光客は団体で行動することもあるため、自分で安全を確認するという意識が薄らいでいるおそれがありますから、観光バス付近では特に歩行者の動きに注意しましょう。

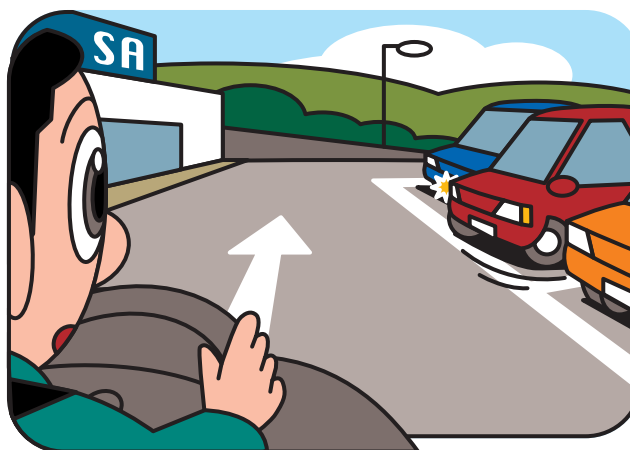
また、観光シーズンは駐車場が混み合います。誘導員などの指示がなく、駐車スペースを自分で探す場合には、探すことに意識が集中して他の車や歩行者への注意が欠けないようにしましょう。



高速道路の駐車場

高速道路のサービスエリアやパーキングエリアは、比較的敷地が広く、車の通行路も広いところが多いのに加え、高速走行を続けていたことから速度感が鈍りがちです。自分では速度を落としているつもりでも、実際には十分な減速にはなっていないケースがありますから注意しましょう。

また、サービスエリアやパーキングエリアは休憩のために立ち寄る場所ですから、他の駐車場に比べ駐車時間が短く、車の出入りが多くなります。通行車両や発進する車の動きによく目を配りましょう。



商業施設等の駐車場

大型小売店やレストランなどの商業施設や公共施設等の駐車場では、自転車も通行していることがあります。車と自転車の駐車スペースは区別されていても、出入口や通路は同じ場合が大半です。他の車や歩行者だけでなく自転車にも注意しましょう。

なかでも買い物をして大きな荷物を載せている自転車や子どもを乗せている自転車は動きが不安定になるおそれがありますから、特段の注意が必要です。



「ご相談・お申込先」